

ZENworks Reporting Server インストールガイド

Novell. ZENworks. 11 サポートパック 2

2012 年 3 月 20 日

www.novell.com



保証と著作権

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、この文書の内容または使用について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また文書の商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容を改訂または変更する権利を常に留保します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、このような改訂または変更を個人または事業体に通知する義務を負いません。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。またノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の下で提供される製品または技術情報はすべて、米国の輸出管理規定およびその他の国の輸出関連法規の制限を受けます。お客様は、すべての輸出規制を遵守し、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出に関する詳細については、[Novell International Trade Services の Web ページ \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/) を参照してください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright © 2008-2012 Novell, Inc. All rights reserved. 本ドキュメントの一部または全体を無断で複製転載することは、その形態を問わず禁じます。

Novell, Inc.

1800 South Novell Place

Provo, UT 84606

U.S.A.

www.novell.com

オンラインマニュアル : 本製品とその他の Novell 製品の最新のオンラインヘルプにアクセスする場合は、[Novell Documentation \(http://www.novell.com/documentation/\)](http://www.novell.com/documentation/) の Web ページをご覧ください。

Novell の商標

Novell の商標一覧については、「[商標とサービスの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

サードパーティ資料

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。

目次

このガイドについて	7
1 最小要件	9
1.1 ZENworks Reporting Server の要件	9
1.2 インストールユーザの要件	11
1.3 Web ブラウザの要件	11
2 ZENworks Reporting Server のインストール	13
2.1 ZENworks Reporting Server のインストールで行うこと	13
2.2 プレインストールタスク	14
2.2.1 最小要件を満たしていることの確認	14
2.2.2 ZENworks Reporting Server の既存インスタンスを廃止する前にレポートのバックアップを行う	14
2.2.3 Linux のホスト名およびネットワークの要件を満たす	15
2.2.4 ISO ダウンロードからのインストール DVD の作成	15
2.3 ZENworks Reporting Server のインストール	15
2.3.1 インストール情報	17
2.3.2 インストーラログ	18
2.3.3 ZENworks Reporting Server のパス	18
2.3.4 ZENworks Reporting Server のバージョン	19
2.4 ファイアウォールの使用	19
2.4.1 ファイアウォールルールの指定	19
2.5 インストール後のタスク	20
2.5.1 廃止されたデバイスからアーカイブされたデータの復元	20
2.5.2 廃止された ZENworks Reporting Server のアンインストール	20
2.5.3 不要なポートを閉じる	20
2.5.4 Apache Tomcat のアップグレード	21
3 ZENworks Reporting Server のアンインストール	23
3.1 GUI モードでの ZENworks Reporting Server のアンインストール	23
3.2 コマンドラインモードでの ZENworks Reporting Server のアンインストール	24
3.3 サイレントモードでの ZENworks Reporting Server のアンインストール	24
3.4 Windows の [プログラムの追加と削除] による ZENworks Reporting Server のアンインストール	24
3.5 アンインストール後のタスク	24
A ZENworks Reporting Server のインストールのトラブルシューティング	27
A.1 ZENworks Reporting Server のエラーメッセージ	27
A.2 ZENworks Reporting Server のトラブルシューティング戦略	28
B マニュアルの更新	37
B.1 2012 年 3 月 20 日 : 11 SP2	37

このガイドについて

この『ZENworks Reporting Server インストールガイド』では、Novell ZENworks Reporting Server を適切にインストールする際に役立つ情報について説明します。このガイドの情報は、次のように構成されます。

- ◆ 9 ページの第 1 章「最小要件」
- ◆ 13 ページの第 2 章「ZENworks Reporting Server のインストール」
- ◆ 23 ページの第 3 章「ZENworks Reporting Server のアンインストール」
- ◆ 27 ページの付録 A「ZENworks Reporting Server のインストールのトラブルシューティング」

対象読者

このガイドは、ZENworks Reporting Server 管理者を対象にしています。

フィードバック

本マニュアルおよびこの製品に含まれているその他のマニュアルについて、皆様のご意見やご要望をお寄せください。オンラインヘルプの各ページの下部にあるユーザコメント機能を使用してください。

その他のマニュアル

ZENworks Reporting Server には、製品について学習したり、製品を実装したりするために使用できるその他のマニュアル (PDF 形式および HTML 形式の両方) も用意されています。その他のマニュアルについては、ZENworks 11 SP2 マニュアル Web サイト (<http://www.novell.com/documentation/zenworks11/>) を参照してください。

最小要件

1

ZENworks Reporting Server のインストールでは、カスタム ZENworks インフラストラクチャレポーティングのために ZENworks Reporting Server をインストールします。

次のセクションでは、ZENworks Reporting Server のハードウェアおよびソフトウェアの最小要件について説明します。

- ◆ [9 ページのセクション 1.1 「ZENworks Reporting Server の要件」](#)
- ◆ [11 ページのセクション 1.2 「インストールユーザの要件」](#)
- ◆ [11 ページのセクション 1.3 「Web ブラウザの要件」](#)

1.1 ZENworks Reporting Server の要件

ZENworks Reporting Server は、既存の ZENworks 11 SP2 プライマリサーバにインストールする必要があります。ZENworks Reporting Server のインスタンスは、管理ゾーン内に 1 つしか保持できません。

ZENworks Reporting Server をインストールするサーバは、次の最小要件を満たしている必要があります。

項目	要件	追加の詳細
オペレーティングシステム	<p>Windows:</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ Windows Server 2003 SP1/SP2 x86、x86_64 (Enterprise エディションと Standard エディション) ◆ Windows Server 2008 SP1/SP2 x86、x86_64 (Enterprise エディションと Standard エディション) ◆ Windows Server 2008 R2 x86_64 (Enterprise エディションと Standard エディション) <p>Linux:</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ SUSE Linux Enterprise Server 10 (SLES 10) SP3 x86、x86_64 (Intel プロセッサと AMD Opteron プロセッサ) ◆ SLES 11 x86、x86_64 (Intel プロセッサと AMD Opteron プロセッサ) ◆ SLES 11 SP x86、x86_64 (Intel プロセッサと AMD Opteron プロセッサ) ◆ Open Enterprise Server 2 (OES 2) SP2 (Linux) x86、x86_64 ◆ Red Hat Enterprise Linux 5.0/5.3/5.4/5.5 x86、x86_64 	<p>Windows Server 2003 および Windows Server 2008 の Core Edition および Data Center Edition はすべて、ブライマリサーバプラットフォームではサポートされていません。Windows Server 2008 Core は .NET Framework をサポートしていないため、サポートされていません。</p> <p>ZENworks Reporting Server を SUSE Linux Enterprise Server (SLES) の 64 ビットプラットフォームにインストールする場合は、必ず、SLES 64 ビットメディアを使用して、libstdc++33--32bit パッケージをインストールするようにしてください。</p> <p>データベースが MS SQL Server の場合、Linux プラットフォーム上で Windows 認証モードはサポートされません。</p>
ハードウェア	<p>RAM: 最小 3GB</p> <p>ディスク容量: 8GB 以上</p>	<p>Windows では、オペレーティングシステムがインストールされているドライブに少なくとも 8GB の空きディスク容量があることを確認してください(ただし、同じドライブに TEMP 環境変数が設定されていない場合)。TEMP 環境変数がオペレーティングシステムのインストール先と同じドライブに設定されている場合は、そのドライブに少なくとも 13GB の空きディスク容量があるようにしてください。</p>
TCP ポート	<p>3306</p> <p>6400</p> <p>6410</p> <p>6420</p>	<p>ZENworks Reporting Server に組み込まれた MySQL データベースで使用します。</p> <p>ZENworks Reporting Server の中央管理サーバが使用します。</p> <p>ZENworks Reporting Server の Server Intelligent Agent が使用します。</p> <p>ZENworks Reporting Server の監査ポート</p>

項目	要件	追加の詳細
	6430	BusinessObjects Enterprise の CMS サーバが、その Request ポートパラメータを設定するのに使用します。
	8080	BOE の tomcat により使用される非セキュアポート
	8443	BOE の tomcat により使用されるセキュアポート
	8006	BOE の tomcat により使用されるシャットダウンポート

1.2 インストールユーザの要件

インストールプログラムを実行するユーザは、デバイスに対する管理者特権を持っている必要があります。例：

- ◆ **Windows:** Windows 管理者としてログインします。
- ◆ **Linux:** root 以外のユーザとしてログインし、`sux` コマンドを使用して権限を root に昇格させてから、インストールプログラムを実行します。

注：データベースが MS SQL Server の場合、ZENworks Reporting Server では、Linux プラットフォーム上で Window 認証モードをサポートしません。

1.3 Web ブラウザの要件

BusinessObjects Enterprise XI 3.1 (ZENworks Reporting Server) では次の Web ブラウザがサポートされます。

Windows Operating System

表 1-1 Windows Operating System でサポートされる Web ブラウザ

ブラウザ OS	ブラウザ
Windows	<ul style="list-style-type: none"> ◆ Internet Explorer 8.0 ◆ Firefox 3.0 ◆ Firefox 3.5

Linux OS

表 1-2 Linux OS でサポートされる Web ブラウザ

ブラウザ OS	ブラウザ
Linux	<ul style="list-style-type: none">◆ Firefox 3.0◆ Firefox 3.5◆ Firefox 5.0

注 : Firefox 4.0 ブラウザはサポートされません。

ブラウザの最小要件の詳細については、Windows および Linux によりサポートされるプラットフォーム向けの SAP BusinessObjects Enterprise XI 3.1 SP3 のマニュアルを参照してください。

ZENworks Reporting Server のインストール

2

ZENworks Reporting Server をインストールするには、次の各セクションのタスクを実行します。

- [13 ページのセクション 2.1 「ZENworks Reporting Server のインストールで行うこと」](#)
- [14 ページのセクション 2.2 「プレインストールタスク」](#)
- [15 ページのセクション 2.3 「ZENworks Reporting Server のインストール」](#)
- [19 ページのセクション 2.4 「ファイアウォールの使用」](#)
- [20 ページのセクション 2.5 「インストール後のタスク」](#)

2.1 ZENworks Reporting Server のインストールで行うこと

ZENworks 11 SP2 Reporting Server は、BusinessObjects Reporting XI R3.1 SP3 エンジンを使用し、別個のインストールメディアからインストールされます。

ZENworks 10 SP3 Reporting Server から ZENworks 11 SP1 Reporting Server にアップグレードすることはできません。ZENworks 11 Reporting Server からのみ ZENworks 11 SP1 Reporting Server にアップグレードすることができます。

詳細については、「[ZENworks Reporting Server のアップグレード](#)」(『[ZENworks 11 SP2 アップグレードガイド](#)』)を参照してください。

ZENworks Reporting Server は、ZENworks 11 SP2 がサポートする言語でインストールできます。インストール時間は、選択した言語数によって異なります。

ZENworks Reporting Server は、次のいずれかのインストール方法でインストールできます。

- **GUI(グラフィカルユーザインタフェース):** Windows サーバと Linux サーバの両方で機能するグラフィカルユーザインタフェース (GUI) インストールプログラムは、インストール CD に提供されています。
- **コマンドライン:** コマンドラインインストールは Linux サーバでのみ利用可能です。
- **サイレントモード:** サイレントモードインストールでは、ユーザによる操作は必要ありません。サイレントモードインストールを実行するには、サイレントモード環境設定ファイルを編集し、スイッチを指定してインストーラを実行する必要があります。

レポートサーバのインストール方法の詳細については、[15 ページのセクション 2.3 「ZENworks Reporting Server のインストール」](#)を参照してください。

2.2 プレインストールタスク

以下の適用可能なタスクを実行し、15 ページのセクション 2.3 「ZENworks Reporting Server のインストール」に進みます。

- ◆ 14 ページのセクション 2.2.1 「最小要件を満たしていることの確認」
- ◆ 14 ページのセクション 2.2.2 「ZENworks Reporting Server の既存インスタンスを廃止する前にレポートのバックアップを行う」
- ◆ 15 ページのセクション 2.2.3 「Linux のホスト名およびネットワークの要件を満たす」
- ◆ 15 ページのセクション 2.2.4 「ISO ダウンロードからのインストール DVD の作成」

2.2.1 最小要件を満たしていることの確認

- ◆ ZENworks 11 SP2 Server のインストール場所では、MS-DOS SFN (8.3 と呼ぶ) スタイルの命名法を使用できる必要があります。デフォルトでは、8.3 はデバイス上で有効になっています。8.3 を有効にする方法の詳細については、[Microsoft のマニュアル \(http://technet.microsoft.com/en-us/library/cc959352.aspx\)](http://technet.microsoft.com/en-us/library/cc959352.aspx) を参照してください。

ZENworks 11 SP2 サーバのインストールパスの詳細については、「[インストール情報](#)」(『ZENworks 11 SP2 インストールガイド』)を参照してください。

- ◆ サーバソフトウェアをインストールするデバイスが必要な要件を満たしていることを確認します。詳細については、[9 ページの第 1 章「最小要件」](#)を参照してください。
- ◆ ポート 6400、3306、6410、6430、6420、8080、8443、および 8006 が空いていることを確認します。これらのポートがビジーの場合、ZENworks Reporting Server をインストールする代替ポートを指定するようプロンプトが表示されます。

これらのポートがファイアウォールでブロックされている場合は、ファイアウォールで有効にする必要があります。詳細については、[19 ページのセクション 2.4 「ファイアウォールの使用」](#)を参照してください。

- ◆ サーバがネットワークに接続されていることを確認します。
- ◆ Novell ZENworks サーバ、Novell ZENworks Loader、Novell ZENworks データベースサービスが実行していることを確認してください。
- ◆ ZENworks Reporting Server を SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 10 SP3 の 64 ビットプラットフォームにインストールする場合は、必ず、SLES 10 SP3 64 ビットメディアを使用して、libstdc++33-32bit パッケージをインストールするようにしてください。

2.2.2 ZENworks Reporting Server の既存インスタンスを廃止する前にレポートのバックアップを行う

ZENworks Reporting Server のインスタンスは、管理ゾーン内に 1 つしか保持できません。同じ管理ゾーンに ZENworks Reporting Server の新しいインスタンスをインストールしたい場合は、ZENworks Reporting Server の既存インスタンスを廃止し、新しいインスタンス、SP2 インストーラをインストールする必要があります。インストーラは管理ゾーンから既存インスタンスを廃止し、新しいインスタンスをインストールします。詳細については、[17 ページの「前提条件」](#)を参照してください。

ZENworks Reporting Server の既存インスタンスを廃止する前に、既存インスタンスからレポートをバックアップしていることを確認します。これは、新規インストールが完了すると、ZENworks Reporting Server の既存のインスタンスが機能しなくなり、レポートをまったく取得できなくなるためです。アーカイブしたレポートは ZENworks Reporting Server の新しいインスタンスに復元できます。

レポートおよびユーザ権利を保存するには、次のコマンドを使用します。

```
zman rpsv <destination_folder>
```

アーカイブされたレポートの取得方法の詳細については、[20 ページのセクション 2.5.1 「廃止されたデバイスからアーカイブされたデータの復元」](#)を参照してください。

2.2.3 Linux のホスト名およびネットワークの要件を満たす

Linux サーバの場合、インストールスクリプトを実行する前に、固定ホスト名が設定されている必要があります。システムのこの情報を設定または変更するには、root 権限が必要です。詳細については、Linux システムのマニュアルを参照してください。

重要 : ZENworks Reporting Server を RHEL サーバにインストールする前に、ローカルホスト IP アドレスおよび FQDN エントリの前に、マシンの設定された IP アドレスおよび FQDN エントリが /etc/hosts ファイルにあることを確認します。

2.2.4 ISO ダウンロードからのインストール DVD の作成

ZENworks Reporting Server ソフトウェアを ISO イメージのダウンロードとして取得した場合、Windows 用と Linux 用に別個のインストール DVD を作成して、これらのプラットフォームに ZENworks Reporting Server をインストールする必要があります。

- 1 ZENworks Reporting Server インストール ISO イメージを [Novell Web サイト \(http://www.novell.com/\)](http://www.novell.com/) からダウンロードして、Windows または Linux デバイスの一時的な場所にコピーします。
- 2 ISO イメージを DVD に記録します。

Linux では、DVD に記録する代わりに ISO マウントポイントからインストールプログラムを実行することもできます。

注 : Linux デバイスでは、ZENworks Reporting Server インストーラへのパス名に空白スペースを入れないようにしてください。

2.3 ZENworks Reporting Server のインストール

- 1 次のいずれかの方法を使用して、ZENworks Reporting Server のインストールプログラムを起動します。
 - **GUI (グラフィカルユーザインタフェース) のインストール**
 1. インストールサーバで、*Novell ZENworks Reporting Server DVD for Windows* を挿入します。

Windows デバイスでは、DVD を挿入するとインストールが自動的に開始されます。表示されたインストールページから言語を選択することもできます。インストールが自動的に開始されない場合は、DVD を挿入した後に `setup.exe` をルートから実行します。

Linux デバイスの場合は、DVD をマウントして、`sh /media/cdrom/setup.sh` を実行します。

◆ コマンドラインインストール (Linux のみ)

1. インストールサーバで、*Novell ZENworks Reporting Server DVD for Linux* を挿入します。
2. DVD をマウントします。
3. すべてのユーザ (「others」を含む) が読み込みおよび実行アクセスを持つディレクトリにコマンドラインインストールを開始するには、DVD をマウントするか、または DVD のファイルを一時的に /root ディレクトリ以外の適当な場所にコピーします。

コピーしたファイルとその親ディレクトリに、すべてのユーザ (「others」を含む) が読み込みおよび実行アクセスを持つことを確認します。

4. 次のコマンドを実行します。

```
/mount_location/setup.sh -e
```

◆ サイレントモードインストール

1. 次のコマンドを使用して、サイレントインストール環境設定ファイルを作成します。

```
setup.exe/setup.sh -s
```

2. サイレントインストール環境設定ファイルをテキストエディタで開きます。

3. `ADMINISTRATOR_PASSWORD=` を検索します。

4. `$lax.nl.env.ADMIN_PASSWORD$` を実際のパスワードに置き換えます。

たとえば、パスワードが `novell` の場合、エントリは次のようになります。

```
ADMINISTRATOR_PASSWORD=novell.
```

5. サイレントインストール環境設定ファイルを保存して、テキストエディタを終了します。

6. 次のコマンドを使用して、サイレントインストール環境設定ファイルを実行します。

```
setup.exe/setup.sh -s -f path_to_the_silent_install_file
```

- 2 インストール中にインストールに必要なデータの詳細を [17 ページの表 2-1 「インストール情報」](#) 内の情報で参照してください。

GUI インストールを使用している場合は、[ヘルプ] ボタンをクリックして同様の情報を参照することができます。

コマンドラインの場合は、「back」と入力して < Enter > を押すと、前のインストールオプションに戻って変更することができます。

いずれの場合も、インストールプロセスを完了するための一環として、データベースが更新され、このプロセス中には CPU 利用率が上昇します。このため、サービスの起動が遅くなる可能性があります。

重要 : ZENworks Reporting Server は、メディアからのみインストールできます。ネットワークドライブへマッピングしてインストールすることはできません。

2.3.1 インストール情報

必要な情報はインストールフローの順番で一覧表示されています。

表 2-1 インストール情報

インストール情報	説明
インストール前の詳細	<ul style="list-style-type: none">◆ ZENworks Reporting Server インストーラを実行する言語を選択するように求められます。言語を選択して、[OK] をクリックします。◆ ZENworks Reporting Server についての簡単な紹介が表示されます。[次] をクリックします。◆ 使用許諾契約画面が表示されます。[同意する] をクリックしてから [次] をクリックします。
前提条件	<ul style="list-style-type: none">◆ インストーラは、ZENworks 11 SP2 Configuration Management サーバがデバイスにインストールされているかどうかチェックします。◆ インストーラは、ZENworks Reporting Server のインスタンスがゾーン内に存在するかどうかチェックします。存在する場合、インストーラは、その既存の ZENworks Reporting Server インスタンスの廃止を求めてきます。 詳細については、14 ページのセクション 2.2.2 「ZENworks Reporting Server の既存インスタンスを廃止する前にレポートのバックアップを行う」を参照してください。◆ 必要な前提条件を満たしていない場合、インストールを続行することはできません。満たされていない前提条件は、GUI に表示されるか、コマンドラインに一覧にされます。
インストールの概要	<ul style="list-style-type: none">◆ このインストール時間は選択する言語の数に応じて異なります。 <hr/> <p>重要 : ZENworks Reporting Server をインストールした後で、ZENworks プライマリサーバの認証局 (CA) のタイプを、内部 CA から外部 CA またはその逆に変更することはできません。</p> <hr/>
インストール前の概要	<p>GUI インストール : この時点までに入力した情報を変更するには、[前へ] をクリックします。インストールを開始するには、[インストール] をクリックします。</p> <p>インストールを終了するには、[キャンセル] をクリックします。インストールをキャンセルした場合、ロールバックは実行されません。</p> <p>コマンドラインインストール : この時点までに入力した情報を変更するには、「back」と入力して <Enter> を押します。</p> <p>インストールを終了するには、<Ctrl>+<C> を押します。インストールをキャンセルした場合、ロールバックは実行されません。</p>
インストールの完了	インストールが正常に完了すると、確認が表示されます。

重要 : ZENworks Reporting Server のインストール後、ZENworks Reporting Server のマシンを再起動します。

2.3.2 インストーラログ

インストーラログは次の場所に格納されます。

Windows の場合 : %zenworks_home%\logs\

Linux の場合 : /var/opt/novell/log/zenworks/

ZENworks Reporting Server がこれらの場所に作成するログファイルは、次のとおりです。

ZENworks Reporting Server_date time.log.xml

wdeploy-AnalyticalReporting-datetime.logwdeploy-CrystalReports-datetime.logwdeploy-InfoViewApp-datetime.logwdeploy-InfoViewAppActions-datetime.logwdeploy-OpenDocument-2011-datetime.logwdeploy-PlatformServices-datetime.log

2.3.3 ZENworks Reporting Server のパス

ZENworks Reporting Server が正常にインストールされると、ZENworks Reporting Server は次の ZENworks 11 SP2 インストールフォルダ内にインストールされます。

- ◆ **Windows の場合 :**

%ZENWORKS_HOME%\share\boe

- ◆ **Linux の場合 :**

\$ZENWORKS_HOME%/share/boe

詳細については、『ZENworks 11 SP2 インストールガイド』の「インストール情報」を参照してください。

2.3.4 ZENworks Reporting Server のバージョン

- ◆ **Linux の場合 :**

- ◆ ZENworks Reporting Server の初回インストール時のゾーンのバージョンは、/opt/novell/zenworks/share/boe/version # ディレクトリ内の ZENworksReportingServerVersion.txt ファイルにあります。
- ◆ 現在発行されているレポートとユニバースのバージョンは、/opt/novell/zenworks/share/boe-publish/version ディレクトリ内の ZENworksReportingServiceComponentsVersion.txt ファイルにあります。

- ◆ **Windows の場合 :**

- ◆ ZENworks Reporting Server の初回インストール時のゾーンのバージョンは、%ZENWORKS_HOME%\share\boe\version # ディレクトリ内の ZENworksReportingServerVersion.txt ファイルにあります。
- ◆ 現在発行されているレポートとユニバースのバージョンは、%ZENWORKS_HOME%\share\boe-publish\version ディレクトリ内の ZENworksReportingServiceComponentsVersion.txt ファイルにあります。

2.4 ファイアウォールの使用

ZENworks Reporting Server はファイアウォールシステムと連携動作するため、ネットワークセキュリティを損なうことなく、イントラネットやインターネットの区別なくレポートリングを提供できます。

このセクションでは、パケットフィルタリングファイアウォール環境で ZENworks Reporting Server を設定する方法について説明します。これ以外のタイプのファイアウォール環境における ZENworks Reporting Server の動作の詳細については、『[BusinessObjects Enterprise XI Release 3 SP3 展開設定ガイド](http://support.businessobjects.com/documentation/default.asp) (<http://support.businessobjects.com/documentation/default.asp>)』を参照してください。

2.4.1 ファイアウォールルールの指定

ZENworks Reporting Server と他の ZENworks プライマリサーバ間にファイアウォールがある場合は、インバウンドアクセスルールを指定する必要があります。このルールを指定する方法の詳細については、ファイアウォールのマニュアルを参照してください。

次の表は、インバウンドアクセスルールの一覧です。

表 2-2 インバウンドアクセスルール

ソースデバイス	ポート	宛先デバイス	ポート	アクション
ZENworks プライマリサーバ	すべて	ZENworks Reporting Server(CMS)	6400	Allow
ZENworks プライマリサーバ	すべて	ZENworks Reporting Server(CMS)	6430	Allow
ZENworks プライマリサーバ	すべて	ZENworks Reporting Server(その他の ZENworks Reporting Server サービス)	6430	Allow
任意のマシン	すべて	ZENworks Reporting Server(CMS)	すべて	Reject
すべて	すべて	ZENworks Reporting Server(その他の ZENworks Reporting Server サービス)	すべて	Reject

2.5 インストール後のタスク

- ◆ 20 ページのセクション 2.5.1 「廃止されたデバイスからアーカイブされたデータの復元」
- ◆ 20 ページのセクション 2.5.2 「廃止された ZENworks Reporting Server のアンインストール」
- ◆ 20 ページのセクション 2.5.3 「不要なポートを閉じる」
- ◆ 21 ページのセクション 2.5.4 「Apache Tomcat のアップグレード」

2.5.1 廃止されたデバイスからアーカイブされたデータの復元

廃止されたデバイスからバックアップされたデータを復元するには、次のコマンドを使用します。

```
zman rpld <source_folder>
```

save および restore コマンドの詳細については、「[レポートコマンド](#)」(『ZENworks 11 SP2 コマンドラインユーティリティリファレンス』)を参照してください。

2.5.2 廃止された ZENworks Reporting Server のアンインストール

廃止された ZENworks Reporting Server をアンインストールするには、ZENworks Reporting Server アンインストーラを使用します。

ZENworks Reporting Server のアンインストール方法の詳細については、[23 ページの第 3 章「ZENworks Reporting Server のアンインストール」](#)を参照してください。

2.5.3 不要なポートを閉じる

ZENworks 11 SP2 Reporting Server をインストールした後で、次のポートを閉じることができます。

- ◆ non-SSL port - 8080
- ◆ shutdown port - 8006

注: これらのポートは、ZENworks 11 SP2 Reporting Server をインストールするときに開かれます。しかし、これらのポートは、ZENworks Reporting Server が適切に機能するために必要なものではありません。

2.5.4 Apache Tomcat のアップグレード

ZENworks Reporting Server では、BusinessObjects Enterprise に添付されているバージョンの Apache Tomcat を使用します。デフォルトバージョンは、Tomcat 5.5.20 です。

現バージョンの Tomcat に既存の脆弱性があり、最新のパッチ (Tomcat 5.5.x) にアップグレードする場合は、以下の手順を実行します。

- 1 BusinessObjects Windows Central Configuration Management で Tomcat を停止し、Windows タスクマネージャで、Tomcat 5.5 プロセスが実行されていないことを確認します。
- 2 C:\Program Files\Business Objects\Tomcat55 を C:\Program Files\Business Objects\Tomcat55.bak に名前変更します。
- 3 Apache Web サイトの Tomcat 5.5.x コアの zip ファイルを C:\Program Files\Business Objects\ にダウンロードします。
- 4 zip ファイルを C:\Program Files\Business Objects\Tomcat55 に圧縮解除します。
このファイルが圧縮解除されると、apache-tomcat-5.5.x という名前の新しいフォルダが作成されます。

- 5 apache-tomcat-5.5.x フォルダを Tomcat55 に名前変更します。
- 6 Windows コマンド (DOS) プロンプトを開き、ディレクトリを C:\Program Files\Business Objects\deployment に変更します。
- 7 コマンドプロンプトで、wdeploy.bat tomcat55 deployall を実行します。
このコマンドにより、すべての Web アプリケーションが新しい Tomcat に展開され、最後に「Build Successful (ビルドに成功しました)」というメッセージが表示されます。
- 8 Windows Central Configuration Manager から Tomcat を開始します。
- 9 ZENworks Reporting Server InfoView をテストします。

ZENworks Reporting Server のインストール

3

管理ゾーン内のプライマリサーバで、まず ZENworks Reporting Server をアンインストールしてから ZENworks Configuration Management をアンインストールする必要があります。

ZENworks Reporting Server をアンインストールすると、役割に指定されたすべてのレポート権利と、管理者に割り当てられたすべてのレポート権利が削除されます。

注：ZENworks Reporting Server は、インストール時と同じモードでアンインストールされます。

たとえば、コマンドラインモードを使用して ZENworks Reporting Server をインストールした場合、アンインストールプログラムはサーバをコマンドラインモードのみでアンインストールします。

- ◆ [23 ページのセクション 3.1 「GUI モードでの ZENworks Reporting Server のアンインストール」](#)
- ◆ [24 ページのセクション 3.2 「コマンドラインモードでの ZENworks Reporting Server のアンインストール」](#)
- ◆ [24 ページのセクション 3.3 「サイレントモードでの ZENworks Reporting Server のアンインストール」](#)
- ◆ [24 ページのセクション 3.4 「Windows の \[プログラムの追加と削除\] による ZENworks Reporting Server のアンインストール」](#)
- ◆ [24 ページのセクション 3.5 「アンインストール後のタスク」](#)

3.1 GUI モードでの ZENworks Reporting Server のアンインストール

- 1 アンインストールプログラムを起動します。

Windows の場合は、次のコマンドを実行します。

```
%ZENWORKS_HOME%\bin\zrsuninstall.exe
```

Linux の場合は、次のコマンドを実行します。

```
/opt/novell/zenworks/bin/zrsuninstall
```

[レポートサーバのアンインストール] ページが表示されます。

- 2 [アンインストール] をクリックします。
- 3 アンインストーラは、ゾーン内にアクティブな ZENworks Reporting Server がないかどうかをチェックします。
- 4 プロンプトが表示されるので、[はい] をクリックします。
アンインストールが開始されます。
- 5 [アンインストールが終了しました] ページで [完了] をクリックします。

3.2 コマンドラインモードでの ZENworks Reporting Server のアンインストール

- 1 アンインストールプログラムを起動します。
Linux の場合は、次のコマンドを実行します。
`/opt/novell/zenworks/bin/zrsuninstall`
アンインストールが開始されます。
- 2 画面のプロンプトに従って、アンインストールプロセスを完了します。

3.3 サイレントモードでの ZENworks Reporting Server のアンインストール

- 1 アンインストールプログラムを起動します。
Windows の場合は、次のコマンドを実行します。
`%ZENWORKS_HOME%/bin/zrsuninstall.exe`
Linux の場合は、次のコマンドを実行します。
`/opt/novell/zenworks/bin/zrsuninstall`

Windows デバイスで、Windows - %ZENWORKS_HOME%/logs/ZRSuninstall_dd_mm_yyyy_hh.mm.ss.log ファイルでログを参照できます。Linux デバイスでは、linux - /var/opt/novell/log/zenworks/ZRSuninstall_dd_mm_yyyy_hh.mm.ss.log ファイルのログを参照できます。

3.4 Windows の [プログラムの追加と削除] による ZENworks Reporting Server のアンインストール

- 1 デスクトップで、[スタート] > [設定] > [コントロールパネル] > [プログラムの追加と削除] の順にクリックします。
- 2 [プログラムの追加と削除] ウィンドウで、[ZENworks Reporting Server] を選択後、[削除] をクリックします。

3.5 アンインストール後のタスク

Linux プラットフォームで ZENworks Reporting Server をアンインストールした場合、一部の Business Objects Enterprise ファイルがデバイスから削除されない場合があります。これらのファイルが削除されていない場合、手動で削除する必要があります。削除が必要な Business Objects Enterprise ファイルは次のとおりです。

- ◆ /etc/init.d/rc3.d/S12BobjEnterprise120
- ◆ /etc/init.d/rc3.d/K10BobjEnterprise120

- ◆ /etc/init.d/rc5.d/S12BobjEnterprise120
- ◆ /etc/init.d/rc5.d/K10BobjEnterprise120

ZENworks Reporting Server のインストールのトラブルシューティング

A

次の各セクションでは、Novell ZENworks 11 Reporting Server の操作中に発生する可能性がある問題の解決方法について説明します。

- [27 ページのセクション A.1 「ZENworks Reporting Server のエラーメッセージ」](#)
- [28 ページのセクション A.2 「ZENworks Reporting Server のトラブルシューティング戦略」](#)

A.1 ZENworks Reporting Server のエラーメッセージ

このセクションでは、ZENworks Reporting Server の使用時に表示される可能性があるエラーメッセージの一部を詳細に説明します。

- [27 ページの「ZENworks Reporting Server のアンインストールは失敗しました」](#)
- [27 ページの「このデバイスはアクティブなレポーティングサーバです。ZENworks 11 Reporting Server をアンインストールすると、エントリがデータベースから削除されます」](#)

ZENworks Reporting Server のアンインストールは失敗しました

ソース：ZENworks 11SP2、ZENworks Reporting Server。

考えられる原因：Novell ZENworks Loader サービスが、アンインストールプロセスの最後で再起動に失敗しました。

アクション：Novell ZENworks Loader サービスを手動で再起動します。

このデバイスはアクティブなレポーティングサーバです。ZENworks 11 Reporting Server をアンインストールすると、エントリがデータベースから削除されます

ソース：ZENworks 11SP2、ZENworks Reporting Server。

説明：これは、ZENworks 11 環境で古いバージョンの ZENworks Reporting Server をアンインストールする際に表示される正しくないメッセージです。

アクション：このエラーメッセージは無視してください。[OK] をクリックして、ダイアログボックスを閉じ、アンインストールを続行します。

A.2 ZENworks Reporting Server のトラブルシューティング戦略

このセクションでは、ZENworks Reporting Server の使用時に発生する可能性がある問題の解決策を示します。

- ◆ 28 ページの「ZENworks Reporting Server インストールが、Oracle データベースを使用している 64 ビット Windows デバイスで失敗する」
- ◆ 29 ページの「ZENworks Reporting Server サービスのデバッグログを有効にする方法」
- ◆ 29 ページの「BusinessObjects Enterprise ログファイルの場所」
- ◆ 29 ページの「ZENworks Reporting Server のログファイルの場所」
- ◆ 30 ページの「ホストマシンにその仮想マシンの CD-ROM としてマウントされた ZCM_REPORTING_10.x.0.iso ファイルを使用した場合、レポートサーバーの仮想マシンへのインストールが失敗する」
- ◆ 30 ページの「ZENworks Reporting Server を削除した後も、ZENworks Reporting Server を削除できないというメッセージが表示される」
- ◆ 30 ページの「ZENworks Reporting Server のアンインストールプロセスが失敗したというメッセージが、ZENworks Reporting Server のアンインストール中に表示される」
- ◆ 31 ページの「Windows で、同じデバイスで別のインストールが実行されている場合、レポートサーバーのアンインストールに失敗することがある」
- ◆ 31 ページの「ZENworks データベースが MS SQL Server データベースで、認証モードが Windows 認証の場合、レポートがプライマリサーバで動作しない」
- ◆ 33 ページの「Windows Server 2008 R2 デバイス上での ZENworks Reporting Server インストールが失敗する」
- ◆ 33 ページの「RHEL サーバに ZENworks Reporting Server をインストールすると、「Business Object デーモンが見つかりません」というエラーで失敗する」
- ◆ 33 ページの「ZENworks Configuration Management 10 SP3 から ZENworks 11 SP2 にアップグレードした後、Windows サーバに ZENworks Reporting Server をインストールすることができない」
- ◆ 34 ページの「ZENworks Reporting Server Infoview でタスクを実行できない」
- ◆ 35 ページの「ZENworks Reporting Server のアンインストーラがハングする」

ZENworks Reporting Server インストールが、Oracle データベースを使用している 64 ビット Windows デバイスで失敗する

ソース：ZENworks 11SP2、ZENworks Reporting Server。

考えられる原因：ZENworks Configuration Management に指定されているインストールパスに括弧が含まれている可能性があります。

アクション 1: 同じプライマリサーバ上に ZENworks Reporting Server をインストールする場合:

- 1 ZENworks Configuration Management をプライマリサーバからアンインストールします。
- 2 ZENworks Configuration Management を、パス名に括弧が含まれないカスタマイズした場所にインストールします。詳細については、「インストール情報」(『ZENworks 11 SP2 インストールガイド』)を参照してください。

アクション 2: 別のプライマリサーバ上に ZENworks Reporting Server をインストールする場合:

- 1 新しいサーバ上に、ZENworks Configuration Management を、パス名に括弧が含まれないカスタマイズした場所にインストールします。詳細については、「インストール情報」(『ZENworks 11 SP2 インストールガイド』)を参照してください。
- 2 ZENworks Reporting Server をインストールします。

ZENworks Reporting Server サービスのデバッグログを有効にする方法

ソース: ZENworks 11SP2、ZENworks Reporting Server。

アクション: ログを有効にするには、Novell Support Knowledgebase (http://support.novell.com/search/kb_index.jsp) の TID 3418069 を参照してください。

BusinessObjects Enterprise ログファイルの場所

ソース: ZENworks 11SP2、ZENworks Reporting Server。

アクション: ZENworks Reporting Server インストールのログファイルは、次の場所にあります。

Windows の場合:

`%zenworks_home%\share\boe\Business Objects Enterprise 120\logging\BOEInstall_0.log`

Linux の場合:

`/opt/novell/zenworks/share/boe/bobje/logging/install_timestamp.log`

ZENworks Reporting Server トレースファイルは、次の場所にあります。

Windows の場合:

`%zenworks_home%\share\boe\Business Objects Enterprise 120\logging`

Linux の場合:

`/opt/novell/zenworks/share/boe/bobje/logging/`

ZENworks Reporting Server のログファイルの場所

ソース: ZENworks 11SP2、ZENworks Reporting Server。

アクション: ZENworks Reporting Server を GUI (グラフィカルユーザインタフェース) インストーラ経由でインストールした場合、インストールログは次の場所にあります。

◆ **Windows の場合:**

- ◆ %zenworks_home%\logs\ZENworks Reporting Server_date time.log.xml
- ◆ %zenworks_home%\logs\wdeploy-date-time.log
- ◆ %zenworks_home%\logs\ZENworks_Reporting_Install_CheckOracleClient_dd_MM_yyyy_HH-mm-ss.log

◆ **Linux の場合:**

- ◆ /var/opt/novell/log/zenworks/ZENworks Reporting Server__date time.log.xml
- ◆ /var/opt/novell/log/zenworks/wdeploy-date-time.log
- ◆ %zenworks_home%\logs\ZENworks_Reporting_Install_CheckOracleClient_dd_MM_yyyy_HH-mm-ss.log

ホストマシンにその仮想マシンの CD-ROM としてマウントされた ZCM_REPORTING_10.x.0.iso ファイルを使用した場合、レポートングサーバの仮想マシンへのインストールが失敗する

ソース: ZENworks 11SP2、ZENworks Reporting Server。

アクション 1: ZCM_REPORTING_10.x.0.iso ファイルを仮想マシンのディレクトリに展開し、そのディレクトリから ZENworks Reporting Server のインストールを実行します。

アクション 2: ZCM_REPORTING_10.x.0.iso ファイルを DVD にコピーし、これを使用して ZENworks Reporting Server を仮想マシン上にインストールします。

ZENworks Reporting Server を削除した後も、ZENworks Reporting Server を削除できないというメッセージが表示される

ソース: ZENworks 11SP2、ZENworks Reporting Server。

アクション: このエラーメッセージは無視してください。[完了] をクリックして、[アンインストールが完了しました] ウィンドウを閉じます。

ZENworks Reporting Server のアンインストールプロセスが失敗したというメッセージが、ZENworks Reporting Server のアンインストール中に表示される

ソース: ZENworks 11SP2、ZENworks Reporting Server。

説明: これは正しくないメッセージで、Novell ZENworks Loader サービスをアンインストールプロセスの終了時に再起動できなかった場合に、アンインストールプロセス中に表示されます。

また、ZENworks Reporting Server アンインストールログファイルとサービスメッセージログファイルに、それぞれ次のメッセージが記録されます。

- ◆ “[ERROR] [8/10/09 1:10:00 PM] [] [UNINSTALL] [ZRS Uninstall Failed with exceptioncom.novell.zenworks.configure.ConfigureException: 2]([エラー] [8/10/09 1:10:00 PM] [] [アンインストール]

[ZRS アンインストールが
exceptioncom.novell.zenworks.configure.ConfigureException: 2 で失敗
しました)”

- ◆ “Failed to send RPC command to the zenloader process:
settings.refresh”(zenloader プロセス :settings.refresh への RPC コマン
ドの送信に失敗しました)

アクション: Novell ZENworks Loader サービスを手動で再起動します。

Windows で、同じデバイスで別のインストールが実行されている場合、レポーティング サーバのアンインストールに失敗することがある

ソース: ZENworks 11SP2、ZENworks Reporting Server。

説明: %ZENWORKS_HOME%\logs\zrsuninstall.log ファイルに次のメッセージが記録
されます。

ERROR_INSTALL_ALREADY_RUNNING

アクション: 次の操作を実行してください:

- 1 Windows のタスクマネージャを開き、msiexec.exe および setup.exe の
すべてのインスタンスを停止します。
- 2 ZENworks Reporting Server をアンインストールします。

ZENworks データベースが MS SQL Server データベースで、認証モードが Windows 認 証の場合、レポーティングがプライマリサーバで動作しない

ソース: ZENworks 11SP2、ZENworks Reporting Server。

説明: レポートの実行中に次のエラーが表示されることがあります。

Windows の場合:

A database error occurred. The database error text is:
[DataDirect][ODBC SQL Server Driver][SQL Server] Login failed
for user zcm-db-user@company.com

Linux の場合:

A database error occurred. The database error text is:
[DataDirect][ODBC SQL Server Driver][SQL Server]Login failed
for user zcm-db-user@company.com

アクション: 次の操作を実行してください:

Windows の場合:

- 1 ZENworks サービスを停止します。
- 2 32 ビットの sqljdbc_auth.dll ファイルを [Microsoft ダウンロード \(http://www.microsoft.com/download/en/details.aspx?id=21599\)](http://www.microsoft.com/download/en/details.aspx?id=21599) サイトから
ダウンロードします。
 - ◆ 32 ビットシステムの場合、このファイルを c:\windows\system32
フォルダにコピーします。
 - ◆ 64 ビットシステムの場合、このファイルを c:\windows\system32
および zenworks_home/bin フォルダにコピーします。

- 3 読み込み許可 (%ZENWORKS_HOME%/conf/security ディレクトリ) と、フル制御の許可 (%ZENWORKS_HOME%/share/boe ディレクトリ) を、ZENworks Configuration Management データベースをホストする Windows サーバのドメインユーザアカウントに付与します。非ドメインユーザの場合、ZENworks Configuration Management Server データベースと ZENworks Reporting Server で、ユーザ名とパスワードが同一でなければなりません。非ドメインユーザにも、読み込みとフル制御の許可を与える必要があります。
- 4 ZENworks サーバで ZENworks Reporting Server サービスのプロパティを編集します。
 - 4a デスクトップの [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] > [ZENworks Reporting Server] > [ZENworks Reporting Server] > [Central Configuration Manager] の順にクリックします。

[Central Configuration Manager] ウィンドウが表示されます。
 - 4b [Server Intelligence Agent (ZENReporting)] を右クリックして、[中止] をクリックします。
 - 4c [Server Intelligence Agent (ZENReporting)] を右クリックして、[プロパティ] をクリックします。

[Server Intelligence Agent (ZENReporting) のプロパティ] ウィンドウが表示されます。
 - 4d [ログオン] パネルで [システムアカウント] を選択解除し、ZENworks Configuration Management データベースをホストする Windows サーバのドメインアカウントのユーザ名とパスワードを指定します。
 - 4e [OK] をクリックします。
 - 4f [Server Intelligence Agent (ZENReporting)] を右クリックして、[開始] をクリックします。
- 5 Tomcat サービスを再起動します。
- 6 ZENworks サービスを再起動します。

詳細については、[Novell Support Knowledgebase \(http://support.novell.com/search/kb_index.jsp\)](http://support.novell.com/search/kb_index.jsp) で TID 7009390 を参照してください。

Linux の場合 :

- 1 MS SQL Server が混合モードで機能するように設定します。
- 2 MS SQL で、ZENworks データベースへのフル権限を持つローカルデータベースアカウントを作成します。
- 3 ZENworks Reporting Server で、dmaccounts.properties ファイルと dmamappings.properties ファイルを変更します。Active Directory のユーザ名とパスワードを [ステップ 2](#) で作成したローカルデータベースのユーザ名とパスワードに置き換えます。
- 4 novell-zenworks-configure -c Start コマンドを使用して、サービスを再起動します。

- 5 ZENworks コントロールセンターにアクセスし、ZENworks コントロールセンターが機能しているかどうかを確認します。
- 6 novell-zenworks-configure -c UpdateBOE コマンドを使用して、更新された設定ファイルを使用するように BusinessObjects Enterprise を更新します。
- 7 ZENworks Reporting Server のレポートが ZENworks Control Center で現在、実行中であることを確認します。

Windows Server 2008 R2 デバイス上での ZENworks Reporting Server インストールが失敗する

ソース：ZENworks 11SP2、ZENworks Reporting Server。

説明：IP Helper サービスが Windows Server 2008 R2 デバイス上で実行されている場合、ZENworks Reporting Server のインストールが失敗します。

アクション：IP Helper サービスを無効にします。

- 1 [スタート] > [設定] > [コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス] の順にクリックします。
- 2 [IP Helper] を右クリックして、[プロパティ] を選択します。
- 3 [中止] を選択してサービスを中止します。
- 4 [スタートアップの種類] ドロップダウンリストで、[無効] を選択します。
- 5 [適用] をクリックします。
- 6 ZENworks Reporting Server をインストールします。

ZENworks Reporting Server のインストールの詳細については、『ZENworks Reporting Server インストールガイド(http://www.novell.com/documentation/zenworks11/zen11_installation_reportingserver/data/bookinfo.html)』を参照してください。

RHEL サーバに ZENworks Reporting Server をインストールすると、「Business Object デーモンが見つかりません」というエラーで失敗する

ソース：ZENworks 11SP2、ZENworks Reporting Server。

説明：ZENworks 11 SP2 Reporting Server を RHEL サーバにインストールすると、インストールに失敗し、「Business Object デーモンが見つかりません」というエラーメッセージが表示されます。

アクション：インストールの前の段階で、/etc/hosts ファイルに、マシンの設定された IP アドレスおよびホスト名エントリを、ファイルの冒頭、ローカルホスト IP アドレスおよびホスト名エントリの前に入力します。

ZENworks Configuration Management 10 SP3 から ZENworks 11 SP2 にアップグレードした後、Windows サーバに ZENworks Reporting Server をインストールすることができない

ソース：ZENworks 11SP2、ZENworks Reporting Server。

説明： ZENworks Reporting Server 10 SP3 をアンインストールし、Windows サーバを ZENworks 11 SP2 にアップグレードすると、Central Management Server でエラーが発生するため、ZENworks Reporting Server のアップグレードを続けることができません。

アクション： ZENworks Reporting Server 10 SP3 をアンインストールした後、およびサーバを ZENworks 11 SP2 にアップグレードする前に、次の手順を実行します。

- 1 ZENWORKS_HOME/share ディレクトリ内の boe フォルダが削除されていることを確認します。
- 2 レジストリの詳細をバックアップします。
- 3 BusinessObjects Enterprise (BOE) レジストリエントリを削除します。
- 4 BOE Tomcat と BOE MYSQL サービスを確認します。サービスが存在する場合は、次のコマンドを使用してサービスを削除します。
 - ◆ sc delete BOE120Tomcat
 - ◆ sc delete BOE120MySQL

ZENworks Reporting Server Infoview でタスクを実行できない

ソース： ZENworks 11SP2、ZENworks Reporting Server。

説明： マルチホームのマシンでは、ZENworks Reporting Server Infoview でタスクを実行できません。

考えられる理由： マシンが複数のネットワークインタフェースカード (NIC) で構成されている場合は、BusinessObjects Enterprise (BOE) Central Management Server が誤ったネットワークインタフェースに自動的にバインドされる可能性があります。

アクション： ZENworks Reporting Server Infoview でタスクを実行するには、次の手順を実行します。

- 1 NIC の 1 つをネットワークバインディング順序の最初に移動します。
 - 1a [ネットワーク接続] ウィンドウを開きます。
 - 1b <Alt> キーを押して、[Advanced (詳細)] メニューを表示します。
 - 1c [Advanced (詳細)] > [Advanced Settings (詳細設定)] の順にクリックします。
 - 1d [Adapters and Bindings (アダプタとバインド)] タブをクリックします。
 - 1e [接続] ウィンドウで、バインディング順序の一番目になる必要があるネットワーク接続を選択します。
 - 1f 上矢印および下矢印をクリックして、選択したネットワーク接続をリストの一番上に移動します。
- 2 ホストファイルを開き、IP アドレスとホスト名にエントリを追加します。

ホストファイルは、Windows マシンでは
C:\Windows\system32\drivers\etc\hosts ディレクトリにあり、Linux マシン
では etc/hosts ディレクトリにあります。

3 マシンを再起動します。

ZENworks Reporting Server のアンインストーラがハングする

ソース：ZENworks 11 SP2: ZENworks Reporting Server

説明：ZENworks Reporting Server をアンインストールしているときに、アンインストールウィザードがハングするか、アンインストールプロセスに通常より多くの時間を要します。ZENworks Reporting Server のアンインストーラがアンインストールプロセスを完了するには、通常、45分から1時間前後かかります。ZENworks Reporting Server のアンインストールに通常より多くの時間がかかる場合は、ZENworks Reporting Server が正しくアンインストールされない可能性が高くなります。

アクション：次の手順を実行します。

- 1 次のことをチェックし、ZENworks Reporting Server のアンインストールが完了したことを確認します。
 - ◆ boe フォルダが、Linux では /opt/novell/zenworks/share フォルダに存在しない。Windows では <ZENWORKS_HOME>/share フォルダに存在しない。
 - ◆ ZRSuninstall.log ファイルに、Uninstallation Completed Successfully (アンインストールは正常に完了しました) メッセージが表示されている。
 - ◆ No ZENworks Reporting Server configured in the Management Zone (ZENworks Reporting Server が管理ゾーンで設定されていない) というメッセージが、ZENworks コントロールセンターの [レポート] ページに表示されている。
- 2 **ステップ 1** にリストされた項目に基づいて ZENworks Reporting Server がアンインストールされていることを確認する場合、ZENworks Reporting Server のアンインストールウィザードをキャンセルしてプロセスを終了します。ZENworks Reporting Server がアンインストールされなかった場合は、手動でアンインストールします。

詳細については、[TID 7009407 \(http://support.novell.com\)](http://support.novell.com) を参照してください。

マニュアルの更新

このセクションには、この『ZENworks Reporting Server インストールガイド』(Novell ZENworks 11 SP2 用)で行われたマニュアル内容の変更に関する情報が記載されています。ドキュメントの最新の更新情報をここで入手できます。

この製品のドキュメントは、HTML および PDF の 2 つの形式で Web にて提供されています。HTML および PDF ドキュメントにはこのセクションに一覧表示された変更が反映され、最新の状態に保たれています。

使用している PDF ドキュメントが最新のものであるかどうかを知る必要がある場合、PDF ドキュメントの表紙の発行日を参照してください。

このドキュメントは次の日付に更新されました。

- ◆ [37 ページのセクション B.1 「2012 年 3 月 20 日 : 11 SP2」](#)

B.1 2012 年 3 月 20 日 : 11 SP2

場所	変更
9 ページの第 1 章「最小要件」	次のセクションをアップデートしました。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 9 ページのセクション 1.1 「ZENworks Reporting Server の要件」
27 ページの付録 A 「ZENworks Reporting Server のインストールのトラブルシューティング」	次のシナリオをアップデートしました。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 31 ページの「ZENworks データベースが MS SQL Server データベースで、認証モードが Windows 認証の場合、レポートングがプライマリサーバで動作しない」。 ◆ 33 ページの「ZENworks Configuration Management 10 SP3 から ZENworks 11 SP2 にアップグレードした後、Windows サーバに ZENworks Reporting Server をインストールすることができない」。 ◆ 34 ページの「ZENworks Reporting Server Infoview でタスクを実行できない」 ◆ 35 ページの「ZENworks Reporting Server のアンインストーラがハングする」

